

5歳～11歳のこどもたちに
新型コロナワクチン接種をされるお医者さまへ

3月から5歳～11歳のこどもたちへの新型コロナワクチン接種が始まりました。私たちは、このまちの小さなこどもたちにコロナワクチン接種をされる小児科やこどもクリニックの先生方に、この手紙と資料を届けさせていただいております。

新型コロナワクチン接種が始まってから1年が経ちましたが、既に重篤な副反応や後遺症に苦しむ人々が大人だけでなく、12歳以上のこどもたちにも数多く出ていることや、接種後に死亡される方がこれまでのワクチンとは比べものにならないほど異常な数にのぼっていることなどを、先生はご存知でしょうか？

また、人口9万人の滋賀県甲賀市において、2021年の2月から10月までの8ヶ月間でワクチン接種後に死亡された方が244名もおられたということが、最近になってわかりました。

さらに、ワクチン接種が始まった2021年1年間の超過死亡者数は6万人を超えており、東日本大震災のあった2011年を上回り、戦後最大となりました。対して、コロナが始まった2020年の超過死亡者数は9千人減でした。

これらの事実を先生はご存知でしたでしょうか。ご承知の上で、5歳～11歳のこどもたちへのコロナワクチン接種のお仕事を引き受けておられるのでしょうか。

先生がこれらの情報を全て知っておられるにも関わらず、小さなこどもたちにコロナワクチンを接種しておられる、とは私たちには到底考えられません。

きっとご存知なくしてお仕事を引き受けておられるに違いない、もしそうだとしたら、これは何としてもお伝えしておかなければと思い、今回、情報を届けさせていただきました。

これらの情報をお読みいただき、もし先生が知らずにいらっしゃったことなどがございましたら、きっとこの機会にご自身でしっかりと調べてみてくださることと思います。そして「コロナワクチンの安全性が認められない」と先生が判断されるならば、当然こどもたちへの接種のお仕事は見合わせられることと信じております。

いのちと暮らしを紡ぐネットワーク

www.corowaku.info

tsunagu@corowaku.info

